

TruPhase の導入(12) —RCA 入力における動作確認—

1. はじめに

前報(2)から前報(4)までに報告した、RCA 入力から RCA 出力への場合にトグルスイッチを Norma にすると音が出ない問題を再調査します。

2. TruPhase の RCA 入力における動作確認方法

接続は P&G のフェーダーと TruPhase を入れ替え、入力は、ZANDEN Model 120 および Brooklyn DAC+からの RCA 入力を Langevin 6V6pp アンプに入力することで再生を行いました。

音源は前報(2)から前報(4)で使用したものです。

テストには、購入機とメーカーから送ってもらった正常動作とされる借用機を使用します。



上段：借用機
中段：購入機
下段：DAC



借用機配線状況
購入機も同様

3. TruPhase の RCA 入力における動作確認の結果

まず、購入機で前報(2)から前報(4)の再現を確認します。

接続

RCA1 入力 MYTEK Brooklyn DAC+

RCA3 入力 ZANDEN Model 120

RCA 出力 Langevin 6V6pp(Input Trans 付き)

又は PX25 シングルアンプ((Input Trans の問題確認のため)

結果

RCA 入力 2 系統、RCA 出力 2 機種とも Normal で音がでない。

Reverse では正常稼働、音質は非常に良い。

次に借用機で同様の確認をとります。

接続

RCA1 入力 MYTEK Brooklyn DAC+

RCA3 入力 ZANDEN Model 120

RCA 出力 Langevin 6V6pp(Input Trans 付き)

結果

RCA 入力 2 系統とも Normal と Reverse とともに正常稼働する。

Normal と Reverse で音質は変わらず、位相反転の兆候はなく、ともに非常に良い。

購入機と借用機の違いは、購入機では、XLR の入力と出力のケーブルを接続していることです。そこで再度、購入機で XLR 接続との干渉の有無を確認することにしました。

接続

RCA1 入力 MYTEK Brooklyn DAC+

RCA3 入力 ZANDEN Model 120

RCA 出力 Langevin 6V6pp(Input Trans 付き)

結果 1

XLR2 入力ケーブル接続、XLR 出力ケーブル接続の場合、RCA 入力 2 系統とも Normal で音がでない。

結果 2

XLR2 入力フリー、XLR 出力ケーブル接続の場合、RCA 入力 2 系統とも Normal で音がでない。

結果 3

XLR2 入力ケーブル接続、XLR 出力フリーの場合、RCA 入力 2 系統とも Normal と Reverse とともに正常稼働する。

結果 4

XLR2 入力フリー、XLR 出力ケーブルを変更して接続の場合、RCA 入力 2 系統とも Normal と Reverse とともに正常稼働する。

以上から、XLR 出力ケーブルの選択に注意すれば購入機も異状なく、動作することが分りました。

なお、今回この機会に TruPhase 周りのアナログアキュライザーの使用について再検

討しました。

当初は、RCA 出力端子に接続していましたが、上記の Normal で音がでないことの原因究明のために、RCA 入力端子に移動させたり、外したりしていました。今回、ZANDEN Model 120 からの RCA 入力端子に戻し、さらに Grado401 のシステムで使用していたアナログアキュライザーを RCA 出力端子に装着してみました。ZANDEN Model 120 からのアナログ再生では、入出力ともアナログアキュライザーを経由し、Brooklyn DAC+からのデジタル再生では、出力側でアナログアキュライザーを経由することになります。



その結果、アナログ再生、デジタル再生とも一層の音質向上が認められ、アナログアキュライザーと TruPhase とのマッチングの良さが確認できました。

4. まとめ

購入品の動作に問題はなく、入力の RCA と XLR の混在は問題ありませんが、RCA 出力の場合、XLR 出力は接続しないこと、もしくは XLR ケーブルの選択に注意することとなりました。さらにアナログアキュライザーと TruPhase とのマッチングも確認できました。

以上